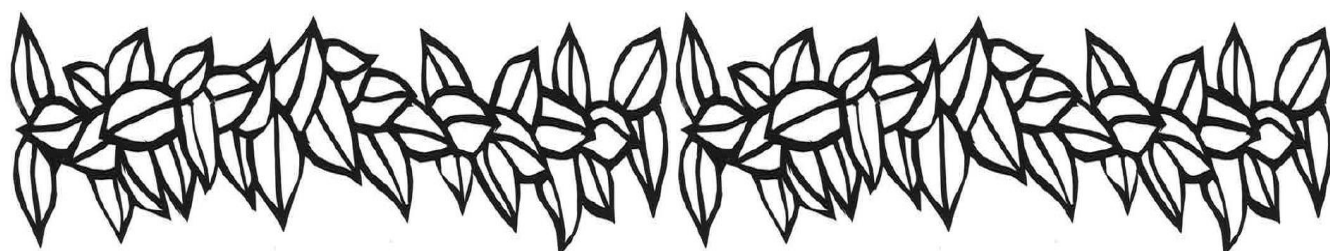


**2024年度
新型コロナウイルス感染症
予防啓発ポスター&川柳
作 品 集**





SAPPORO

講 評

○ポスター

言葉とイラストを上手に組み合わせ、伝えたいテーマを分かりやすくポスターに描くことができていることに感心しました。みなさんの取組みが、札幌市をより感染症に強いまちにしてくれるものと思っています。

○川柳

言葉の選び方や順番など、一人一人の個性が感じられる素晴らしい作品ばかりで、市長賞を選定するのにとても迷いました。中にはクスッと笑えるような川柳もあり、作品を読むのが面白かったです。

札幌市長 秋元 克広

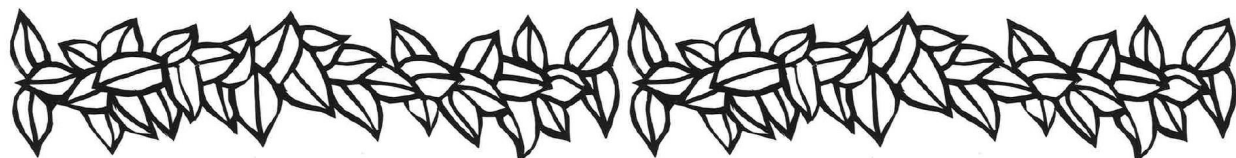


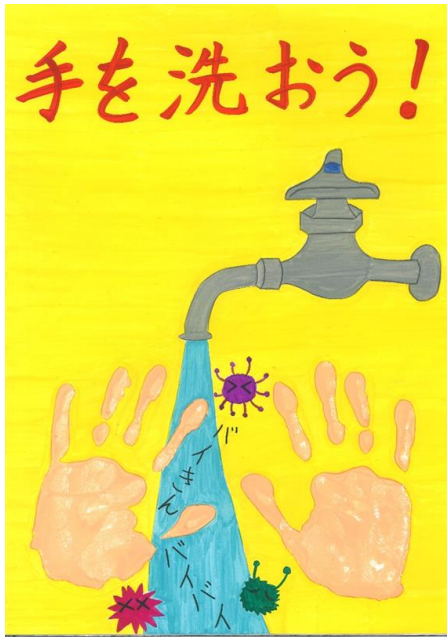
今年度もたくさんの作品をご応募頂きありがとうございました。ポスターはインパクトのあるイラストや色使いでぱっと目につくことが重要ですし、川柳は限られた文字数でいかに伝えたいことを伝えるかという難しさがあります。ただどの作品も、それぞれ工夫がこらされていて、感染症対策の基本である手洗いの大切さが伝わってくるすばらしい作品ばかりでした。

現在もコロナやインフルエンザ以外の感染症も流行していますので、日常生活の中で自分できること、みんなできることは何かを一緒に考え取り組んでもらえると嬉しく思います。

札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学
教授 大西 浩文

予防啓発ポスター作品紹介

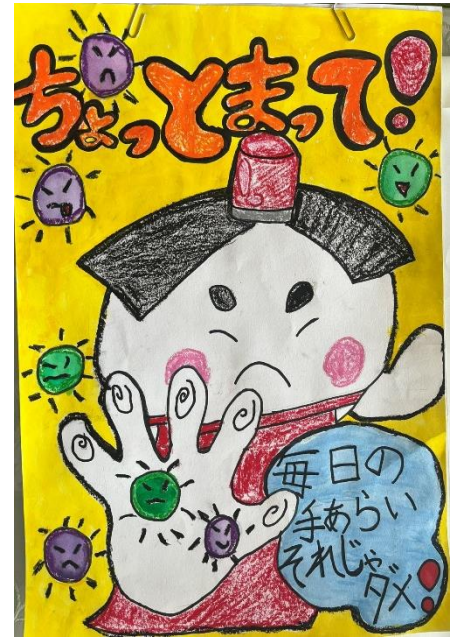




医大賞 市長賞 病理賞
北海道私立幼稚園協会賞
花王賞
札幌国際大学賞
宮の森中賞
幌北小学校 5年
甲斐 杏那



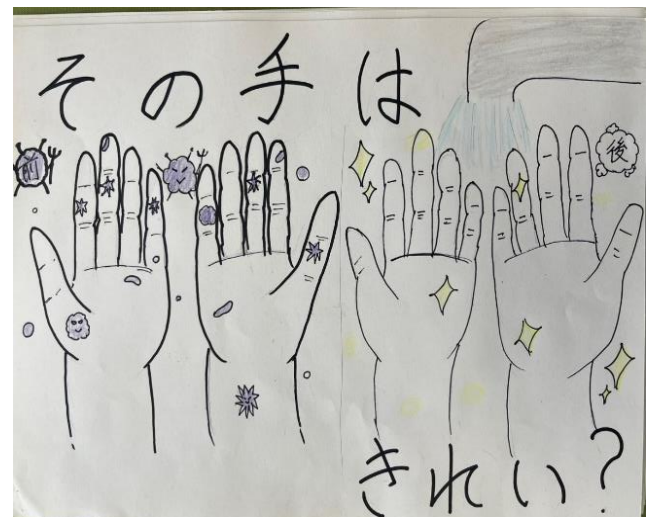
医大賞 伏見中賞
北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
札幌国際大学賞
柏 中学校
2年 町田 紫月



医大賞 市長賞 花王賞
伏見中賞 こびまる賞
北海道私立幼稚園協会賞
北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
南月寒小学校
3年 鶴岡 ちよ



医大賞 東京サラヤ賞 花王賞 伏見中賞
厚別西小学校
札幌国際大学賞
6年 竹下 慶哉



医大賞 北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
伏見中学校
2年 大山 結楽

伏見中賞の講評

厚別西小 6年 竹下 慶哉 6票
みんな笑ってて可愛い。楽しく手洗いきそう

手稲宮丘小 6年 大木 玲奈 5票
手洗いの効果が可視化されていてよい

柏中 2年 町田 紫月 5票
手洗いの手順が分かりやすく、バイキンを排除できる

厚別西小 6年 富堂 琴葉 4票
グラデーションが綺麗

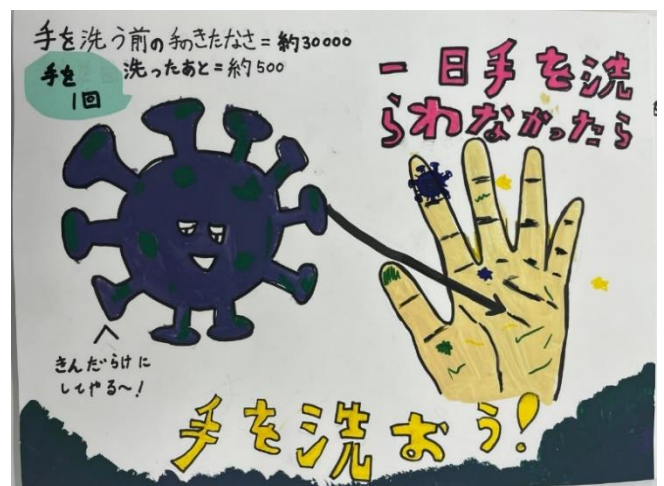
厚別西小 6年 宇治 杏奈 4票
インナーカラーがおしゃれかつ清潔感がある

厚別西小 6年 臼井 碧咲 4票
バイキンのイラストが可愛い

南月寒小 3年 小山 美咲 4票
文字がカラフルでイラストが沢山あってわかりやすい



医大賞 病理賞 伏見中賞
南月寒小学校
1年 小山 聡美



医大賞 北海道私立幼稚園協会賞
花王賞 宮の森中賞
厚別西小学校
6年 向畑 花音

宮の森中賞 選考の様子

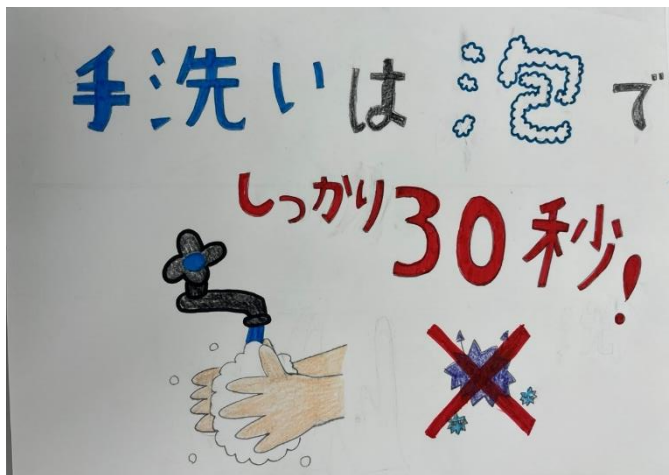




医大賞 宮の森中賞
厚別西小学校
6年 富堂 琴葉



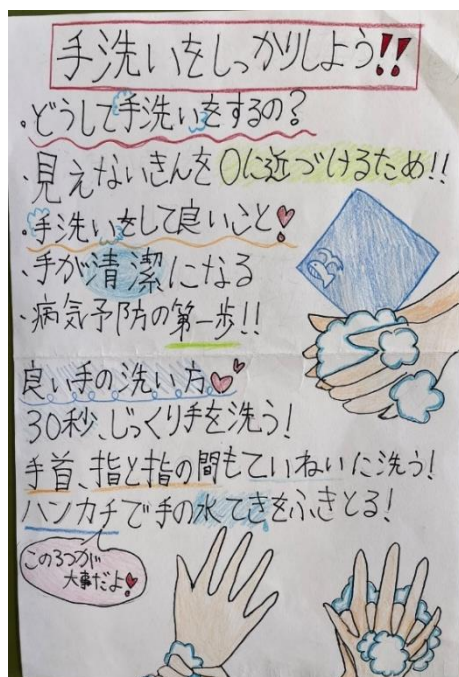
医大賞 市長賞 札幌市教育長賞
こびまる賞
伏見中学校
2年 山田 恵莉那



医大賞 北海道私立幼稚園協会賞 花王賞
厚別西小学校
6年 西村 真桜



医大賞
厚別西小学校
6年 上地 朝奈



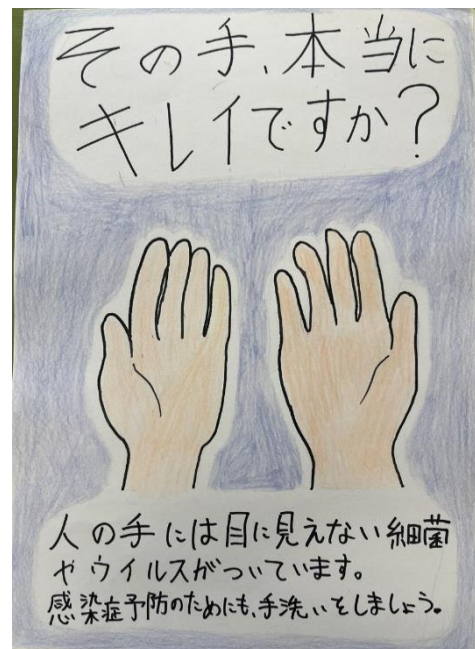
医大賞 宮の森中賞
手稲宮丘小学校
6年 白戸 陽菜



医大賞
伏見中学校
1年 七戸 響子



医大賞 市長賞 花王賞
北海道私立幼稚園協会賞
伏見中学校
3年 落合 素子



医大賞 花王賞
伏見中学校
2年 佐藤 えま



市長賞 病理賞 花王賞
手稲宮丘小学校
4年 山下 冬真



病理賞
厚別西小学校
6年 菅野 結愛

ポスター

厚別西小 6年 向畑 花音

インパクトのある絵のなかにも正確な情報を盛り込んでいます。

厚別西小 6年 上地 朝奈

やさしい問いかけで手洗いの大切さを表しています。

厚別西小 6年 西村 真桜

川柳と融合した作品で、「泡でしっかり30秒」というフレーズは見事です。

伏見中2年 佐藤 えま

目を引く問いと、正確な情報が盛り込まれています。

講 評【川柳】

福井野中 1年 内館 勇翔

ぐちゅガラペ 手洗いうがい めちゃスッキリ

※ うがいの正しい方法を、楽しいリズムで覚えられそうです

厚別西小 6年 小島 向陽

手洗い後 しっかり拭こう ハンカチで

※ ハンカチ大事ですね

大谷地小学校 4-1

かぜの時期 しっかりあらい よくあそぶ

※ 寒さも風邪も吹き飛ばして、元気に外で遊ぶ様子が目に浮かびます

手稲宮丘小学校 4年 石谷 結花

いつまでも よく手を洗い けんこうに

※ どの年代も、これからもずっと手洗いを習慣づけていきましょう、というメッセージがシンプルに伝わります

宮の森中 2年 佐藤 蒼空

手を洗う 風邪を遠ざけ 春が来る

※ 長い冬を、手洗いで乗り切ったその先に、暖かな希望が見えるような素敵な句です

【ポスター】 5作品

幌北小 5年 甲斐 杏那

※ 大胆な構図で目を引きます！

厚別西小 6年 竹下 慶哉

※ みんなで楽しく手洗いする様子に、幸福を感じられます

手稲宮丘小 白戸 陽菜

※ 手洗いの大事さとポイントを、丁寧に見やすくまとめています

伏見中 1年 七戸 響子

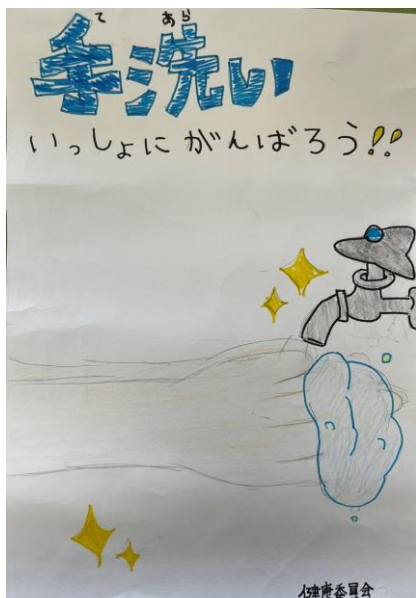
※ 汚れた手ときれいな手のイラストの対比が良いですね

伏見中2年 山田 恵莉那

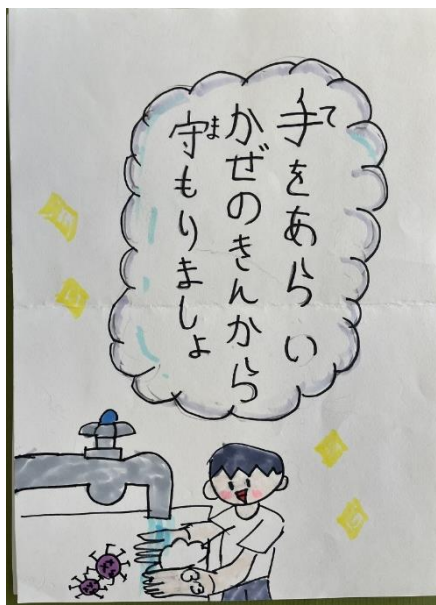
※ こびまるくんが、ハンカチの大事さを印象的に伝えてくれています

【全体講評】

以前より、小中学校の皆さんに、穏やかな日常が戻ってきたように感じられました。その中で、安心して暮らせる世の中を手洗いやうがいで守っていこう、という意志が、多くの川柳やポスターから伝わってきました。手を拭くところまで忘れないように、というメッセージが今年は多く見受けられたように思います。



病理賞
新川中央小学校
健康委員会



東京サラヤ賞
手稲宮丘小 5年
杉野 未佳



病理賞
伏見中 3年
藤川 結良



東京サラヤ賞 医大賞 伏見中賞
厚別西小 6年
白井 希果

東京サラヤ賞 選考作品

■ポスター

厚別西小 6年 白井 希果さん

⇒ 手首・つめの間など手洗いのチェックポイントが分かりやすく伝わります。とても綺麗な作品ですね。

厚別西小 6年 竹下 慶哉さん

⇒ ことわざも上手に取り込んで、手洗いをとてもポジティブにとらえています。思わずこちらも「ニコッ」としてしまいそうな素敵な作品ですね。

手稲宮丘小 5年 杉野 未佳さん

⇒ 川柳とイラストを活用して、とても手洗いの大切さが伝わってきます。イラストも可愛くとても素敵な作品です。

講評 ポスター：病理賞

みんなが作ったポスターは、どれもすばらしい作品です。いずれも、完成度が高く、感染症の基本的な考え方や対策などを、十分に理解していると考えられる作品ばかりで、きみたちの努力は高く評価できます。

幌北小 5年 甲斐 杏那さん：

- ・ カラフルな配色で、手洗いの重要性を強調し、感染症の病原体を中心に置き、水で流れる様子を描くことで、有効な感染症対策を表現する印象的な作品です。

厚別西小 6年 菅野 結愛さん：

汚れた手を表現するために、絶妙な配色を用いて中央に置き、その周りに、手を洗うという行為とその結果をわかりやすく表現している優れた作品です。

手稲宮丘小 4年 山下 冬真さん：

- ・ 感染症対策としての手洗いを表現する一方で、みんなで協力して感染症対策を行うことの重要性が示されており、力強さとともに心優しい作品です。

南月寒小 1年 小山 聡美さん：

- ・ 中央に大きく配置された手と病原菌で、感染症対策としての手洗いが有効に表現されており、だれが見てもわかる秀逸な作品です。

新川中央小 健康委員会：

- ・ 一見、非常にシンプルながら、中央に大きく配置された手で、手洗いの重要性和有効性が表現されており、見た瞬間に理解できる優れた作品です。

伏見中 3年 藤川 結良さん：

- ・ 「バイ、バイ、菌」とのタイトルは、巧妙かつ秀逸であり、悪役と戦う手洗いの有効性が印象的に描かれており、表現力の高い作品です。

講評

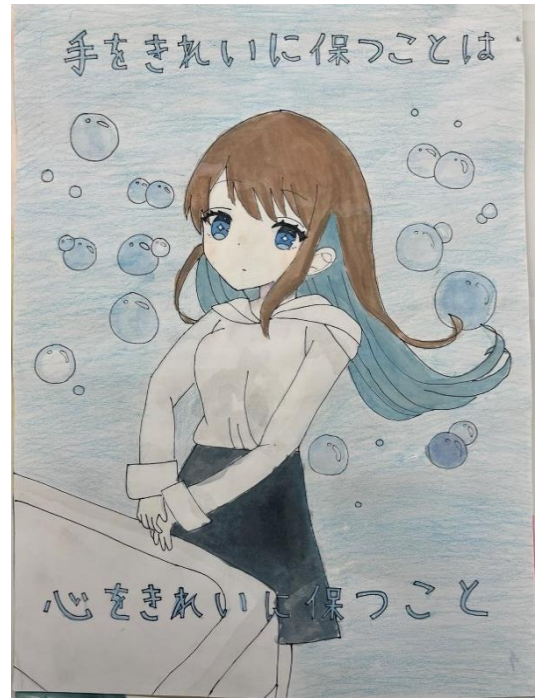
どの作品もシンプルなメッセージが伝わってきました。

小さな毎日の行動の積み重ねが大切ですね。

しっかり手洗いして「いつものあたりまえ」を守りましょう。



医大賞
北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
手稲宮丘小 1年
伊藤 密桜



医大賞 花王賞 伏見中賞
札幌国際大学賞 宮の森中賞
厚別西小 6年
宇治 杏奈

幌北小 5年 甲斐 杏那

流水で手洗いをし、手指についた病原体を洗い流している様子が描かれています。シンプルでメッセージ性の強いポスターと思います！ すばらしい！

厚別西小 6年生 宇治 杏奈

常に自分や自分の身の回りをきれいに整えておくことは、心を整え、気持ちをさわやかにしてくれますね。「手洗いを習慣にしてきれいに保つことは、こころをもきれいに保つことにつながる」、というメッセージには、とても共感させられました。

厚別西小 6年生 臼井 碧咲

手洗いの重要性、つまり、病原体を少なくすることにつながり感染症にかかりにくくなる効果があること。これが一目瞭然でわかるすばらしいポスターですね！

厚別西小 6年生 竹下 慶哉

みんな素敵な笑顔！ 確かに、手洗いをを行うことで、自分や自分の大切なまわりの人たちの病気が減る可能性が高まるということは、自分や皆を幸せにしようということでしょう。「手洗う門には福来たる」確かに！！

手稲宮丘小 伊藤 密桜

えがおで手をあらっている女の子がえがかれています。元気ですぐすため、たのしく、えがおで、手あらいをしましょう！ すてきなポスターです！

手稲宮丘小 佐竹 藤頼

病気をひきおこす菌やウイルスは、たしかに目にみえません。見えなくともたしかに存在するそれらを、手洗いで少なくすることが可能！ 予防としての手洗いの重要性について、よく描いてくれました！

南月寒小 鶴岡 ちよ

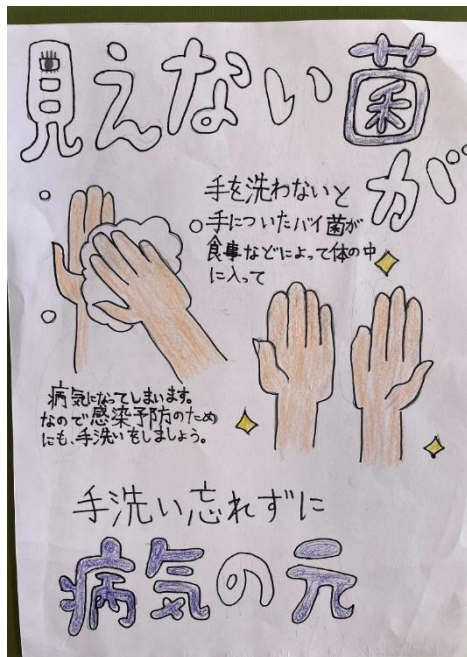
せっかく手あらいが習慣となっても、あらい方にはいくつか注意点があります。ふだんの手あらいについて、あらためてちゃんとして！ という気持ちにさせてくれるすてきなポスターですね！



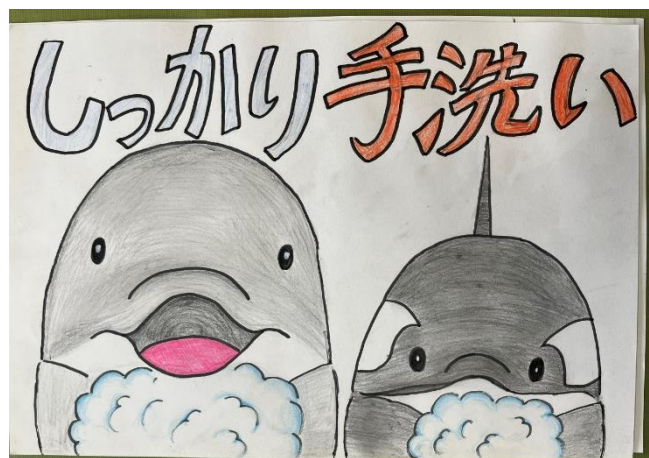
医大賞 伏見中賞
厚別西小6年
臼井 碧咲



花王賞
北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
厚別西小 6年
松木平 凉寧



医大賞
手稲宮丘小 6年
佐竹 藤頼



花王賞 札幌市教育長賞 宮の森中賞
伏見中 3年
管 佑陽

講評(ユニセフ賞)

手稲宮丘小 6年 寺井綾菜
手洗いの仕方がわかりやすく描かれています。

手稲宮丘小 6年 大木 玲奈
石鹸を使った手洗いの大切さが伝わってきます。



伏見中賞
南月寒小 3年
小山 美咲

花王賞

南月寒小 3年 鶴岡 ちよ
インパクトのある絵が丁寧な手洗い意識させますね。

伏見中 3年 奥野 花梨
こまめに洗う大切さが伝わりました！

伏見中2年 佐藤 えま
目に見えないからこそしっかり手洗いしなくては！と気づきがあります。

幌北小学校 5年 甲斐 杏那
細かい部分まで丁寧に描かれていて、色使いからも手洗いの重要性が伝わります。

厚別西小学校 6年 向畑 花音
左のばい菌のインパクトが良い。手洗いの効果を数字で伝えている点が良いですね。

厚別西小 6年 松木平 涼寧
重要な事をシンプルな言葉で、且つ解りやすい絵に賞賛！

厚別西小 6年 宇治 杏奈
てをあらう事でまわりへの感染防止する気持ちが伝わってきます。

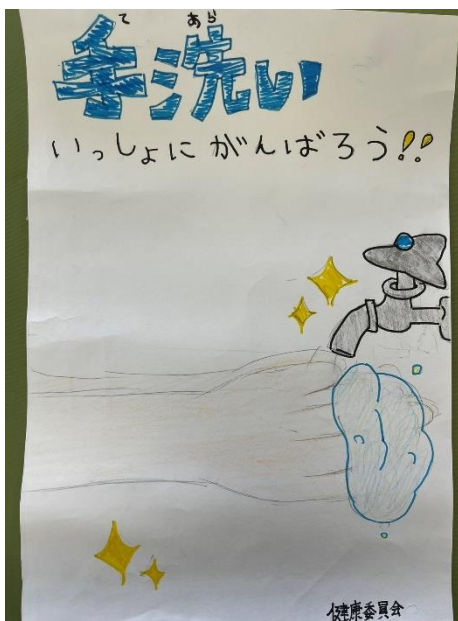
厚別西小 6年 西村 真桜
30秒！ポイントが分かり易い！

厚別西小 6年 竹下 慶哉
《手洗う門には福来る》という標語はユニークで、家族みんなが楽しみながら手洗いできる感じが感じられます。

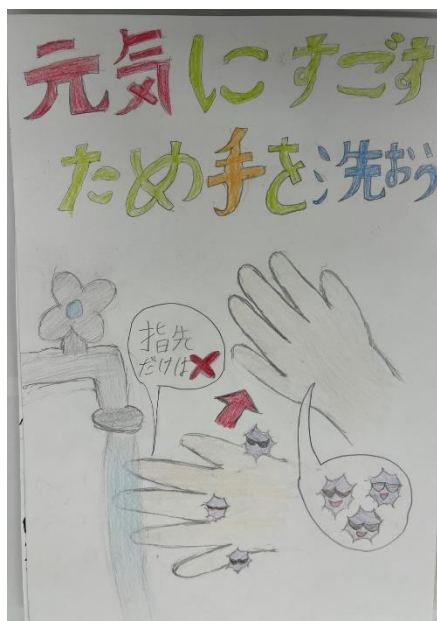
伏見中 3年 管 佑陽
目に止まる構図でかわいい。手を洗いながら笑顔になりそう。

新川中央小 健康委員会
てあらいを続けることをみんなでがんばりたいですね！

手稲宮丘小 4年 山下 冬真
ポスターでハッとさせられました！せっけんでやっつけよう！



花王賞
新川中央小
健康委員会



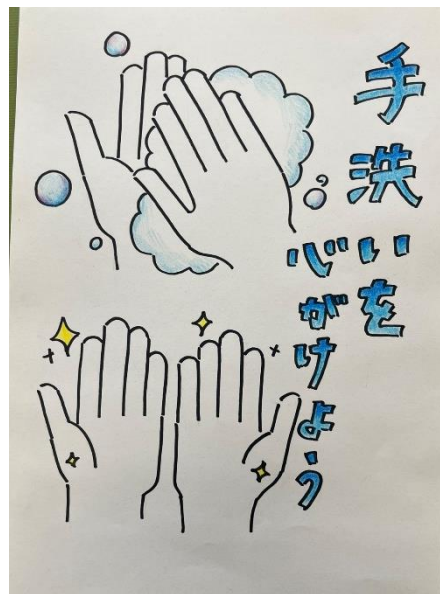
北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
厚別西小 6年
石橋 朋佳



ユニセフ賞
手稲宮丘小 6年
寺井 綾菜



北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
ユニセフ賞 伏見中賞
札幌国際大学賞
手稲宮丘小 6年
大木 玲奈

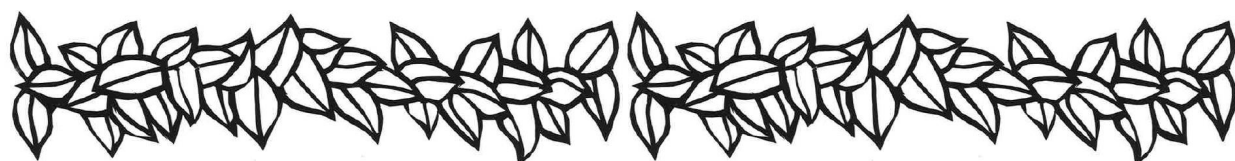


北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞
伏見中 3年
奥野 花梨

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞 講評

一生懸命作成したことがわかる素晴らしい作品ばかりで、今年度も選考は難航いたしました。そのような中、川柳もポスターも、「伝わりやすさ」という視点で合計14 作品を選びました。生き生きとした作品は強い発信力を持っていて、大変感動いたしました。

予防啓発川柳作品紹介



医大賞

北海道私立幼稚園協会賞

病理賞

医大賞

健康の秘けつは手洗い 三十秒

大谷地小学校①

医大賞

タイミング 見きわめごしごし 手を洗う

南月寒小学校 六年

田中 結都

医大賞

手洗いで インフルエンザ さようなら

発寒西小学校 三年

たにかわ ことり

医大賞

言わずとも 必ず手あらい 良い習慣

福井野中学校 一年

木越 葵

医大賞

こびまる賞

手洗いで 感染予防 簡単だ

宮の森中学校 一年

平澤 京也

みんなでさてあらいうがい わすれずに

南月寒小学校 六年

股村 快理

医大賞

健康第一 これからも手洗い 感染予防

福井野中学校 一年

金森 望羽

医大賞

手を洗う 風邪を遠ざけ 春が来る

宮の森中学校 二年

佐藤 蒼空

医大賞

いつまでも よく手を洗い けんこうに

手稲宮丘小学校 4年

石谷 結花

医大賞

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞

かぜの時期 しっかりあらい よくあそぶ

大谷地小学校 四年②

医大賞

手洗い後 しっかり拭こう ハンカチで

厚別西小学校 六年

小島 向陽

医大賞

手洗いで インフルエンザ さようなら

発寒西小学校 三年

たにかわ ことり

医大賞

ぐちゅガラペ 手洗いうがい めちゃスツキリ

福井野中 一年

内館 勇翔

医大賞

健康と 笑顔を守る 手洗いで

宮の森中学校 二年

川田 万莉枝

医大賞

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞

タイミング 見極めながら 手洗いを

福井野中学校 二年

伴野 稀泉

医大賞

手洗いは 病気予防の 第一歩

宮の森中学校 一年

藤田 一慶

医大賞

花王賞

手あらいはひととじぶんを まもるため

福井野中学校 一年

蒲田 結彩

北海道私立幼稚園協会賞

「ま、いつか」菌も積もれば 毒になる

福井野中学校 二年

下平 俐通

北海道私立幼稚園協会賞

札幌市教育長賞

手洗いは 金など要らぬ なぜやらん？

宮の森中学校 一年

内海 想

北海道私立幼稚園協会賞

てあらいは バイキンたおす あいことば

発寒西小学校 三年

山岡 ちや

北海道私立幼稚園協会賞

ぼくたちについているきんを たおそうよ

発寒西小学校 三年

こつや ゆづこ

市長賞

せつけんに 込めた願いは 健康に

厚別西小学校 六年

笹木 優吾

市長賞

紳士への 第一歩はね 手洗いだ

宮の森中学校 一年

高岡 春蓮

市長賞

病理賞

手のきんよ 早くなくなれ いなくなれ

発寒西小学校 三年

吉田 理乃

市長賞

バイキンを たおして体 まもろうよ

発寒西小学校 三年

大滝 瑠七

市長賞

てあらいで こころがけよう ピッカピカ

発寒西小学校 三年

石井 亮太

医大賞

花王賞

てあらいで ばいきんたおし ピカピカだ

発寒西小学校 三年

石井 亮太

病理賞

札幌国際大学賞

手洗いは 周りを気遣う 礼儀だよ

福井野中学校 一年

佐藤 泰範

病理賞

せつけんで てをきれいにね あらおうよ

発寒西小学校 三年

吉田 理乃

病理賞

てあらいで ばいきんたいじ がんばろう

発寒西小学校 三年

吉田 理乃

病理賞

手のきんは なんこつおてる みてみよう

発寒西小学校 三年

吉田 理乃

病理賞

ウイルスを てあらいだいじ がんばろう

発寒西小学校 三年

吉田 理乃

病理賞 講評：川柳

みんなが作った作品は、感染症という病気だけではなく、感染症の対策までも理解しているとわかる優れたものばかりです。手を洗うという具体的な内容を超えて、手洗いが、自分の健康のみならず、他者や社会全体にとっても有効と表現されている作品も多く、きみたちの表現力に感動しました。

福井野中 佐藤 泰範さん

「手洗いは 周りを気遣う 礼儀だよ」

- ・ 自分にとっての感染症対策が、自分の健康を守るのみにとどまらず、他者に対する視点や影響をも表現されており、視野の広い作品です。

発寒西小 吉田 理乃さん

「せっけんで てをきれいにね あらおうよ」

「てあらいで ばいきんたいじ がんばろう」

「手のきんは なんこつおてる みてみよう」

「ウイルスを てあらいだいじ がんばろう」

「手のきんよ 早くなくなれ いなくなれ」

- ・ 5個の作品は、いずれも、短い文章のなかに、感染症に対する手洗い行動の重要性を表現しており、だれにでも理解できる優れた作品です。

宮の森中 宮木 菜菜美さん

「手を洗う 清潔保って 笑顔咲く」

「泡立てて 手を守るよ 無敵だね」

「手を洗う 病気よけるよ 毎日ね」

- ・ 3個の作品は、いずれも、手洗いという行動自体というよりも、その結果としてどのような効果が得られるのかを有効に表現しており、心優しい作品です。

大谷地小 4ー3組：

- ・ 小学生の作品でありながら、手洗いの重要性を表現するのみにとどまらず、手洗いの具体的な方法や健康に対する意識を配慮するなど、心に響く作品です。

病理賞

手を洗う 清潔保って 笑顔咲く

宮の森中学校 一年

宮木 菜菜美

病理賞

泡立って 手を守るよ 無敵だね

宮の森中学校 一年

宮木 菜菜美

病理賞

手を洗う 病気をけるよ 毎日ね

宮の森中学校 一年

宮木 菜菜美

東京サラヤ賞

これからも 手あらいを しようよ

発寒西小学校 三年

石原 みあ

東京サラヤ賞

きゅうしょく前 てあらいしっかり 30秒

南月寒小学校 六年

千葉 千早

東京サラヤ賞

自分たち 菌と戦い 生きていく

厚別西小学校 六年

宇治 杏奈

講評: 東京サラヤ賞

・発寒西小 3年 石原みあさん
「これからも 手あらいを しようよ」
⇒手洗いの習慣の大切さがよく伝わる内容になっています。簡潔ながら、心に訴えかけるパワーのある作品ですね。

・南月寒小 6年 千葉千早さん
「きゅうしょく前 てあらいしっかり 30秒」
⇒食事の前の手洗いの重要性が上手くまとめられた作品ですね。しっかり30秒という具体的な時間も示されていて素晴らしいと思います。

・厚別西小6年 宇治杏奈さん
「自分たち 菌と戦い 生きていく」
⇒食中毒や病気を引き起こす様々な菌があり、人類に歴史は菌との戦いだったとも言えます。病原菌への対策、あるいは人体に有益な菌の利用など菌との付き合い方を考えさせられる良い作品だと思います。

医大賞

手洗いは 体をまもる 命づな

手稲宮丘小学校 四年

板垣 琉

医大賞

こびまる賞

帰ったら まっすぐ行こう 手洗い場

柏中学校 一年

賣場 瑞季

医大賞

手洗いで 救える命は 数知れず

宮の森中学校

二年
須藤 春成

医大賞

ジャージャーと しっかり洗って かぜよぼう

手稲宮丘小学校 三年

中瀬 しまき

医大賞

札幌国際大学賞

手洗いで 増える笑顔に 減る涙

福井野中学校 一年

蒲田 結彩

医大賞

きれいな手 二回祝って 誕生日

宮の森中学校 一年

荒谷 知花

医大賞

札幌国際大学賞

習慣化 清潔手洗い 三十秒

宮の森中学校 一年

宮本 直生

医大賞

てのすきま すみずみきれい きれいだな

発寒西小学校 三年

くづつーじゅり

医大賞

手をあらい ピカピカピカ力 よくできた

発寒西小学校 三年

岩さきひろむ

花王賞

水の音 無言で伝わる 清らかさ

宮の森中学校 二年

光部 心香

花王賞

手洗いは 未来を守る 対策だ

宮の森中学校 二年

蒲原 凜子

花王賞

手洗いは もこもこ泡が 主人公

宮の森中学校 二年

稲村 由彩

花王賞

笑う時間 守るためにも 手洗いを

宮の森中学校 二年

竹本 夏乃子

花王賞

手あらいは みんなのために つづけよう

手稲宮丘小学校 一年

戸田 旬紀

花王賞

手を洗おう 病気も風邪も バイバイ菌

伏見中学校 三年

藤川 結良

花王賞

手をあらい きれいになって うれしいな

大谷地小学校 四年③

花王賞

札幌国際大学賞

「手を洗おう」 みんなを守る 魔法の語(ことば)

柏 中学校 二年

栗木 慶信

花王賞

清潔に 感染予防 手洗いで

福井野中学校

一年
高橋 空師

花王賞

人間は 顔だけじゃない 清潔も

宮の森中学校

一年
大西 繭子

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞

手洗いを せずに物食べ 大後悔

宮の森中学校 二年

杉山 晴

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞

手を洗う それは身近な 予防法

伏見中学校 二年

山田 恵莉那

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞

六ヶ所の ポンイト洗う 三十秒

福井野中 二年

小林 唯

北里大学医療衛生学部公衆衛生学賞

手洗い場 きゆうしよくの前 こみこみだ

南月寒小 六年

横山 協

ユニセフ賞

こびまる賞

せつけんで 手をあらおうね 三十秒

手稲宮丘小 4年

中野 よし紀

ユニセフ賞

こびまる賞

あらおうね あわできれいに あらおうね

発寒西小 三年

ます こはる

ユニセフ賞

手洗いは 6つの場所を しっかりね

宮の森中 一年

中島 大

札幌市教育長賞

きれいだと 思いこまないで 自分の手

宮の森中 一年

中村 豪恒

札幌市教育長賞

バイキンだ！ちゃんと洗って バイバイキン

南月寒小 六年

横山 協

札幌国際大学賞

手洗いで 未来の私におこづかい

宮の森中 一年

鈴木 さくら

札幌国際大学賞

手の汚れ 落とした分だけ 減る感染

伏見中 二年

住吉 和真

札幌国際大学賞

てあらいで まいにちげんきに すごそうよ

南月寒小 一年

やすとも みお

札幌国際大学賞

手洗いは 心もひかり 手もひかり

大谷地小 一年

札幌国際大学賞

自分の手 健康つなぐ 宝物

福井野中 二年

笠井 郷

札幌国際大学賞

手洗いは 強い身体の 基本だよ

厚別西小 六年

竹下 慶哉

札幌国際大学賞

手洗いは 自分を磨く 第一歩

宮の森中 一年

藤田 一慶

札幌国際大学賞

手洗いで 広がる笑顔 増やしたい

宮の森中 一年

高島 梓

札幌国際大学賞

手洗いは 元気につながる 第一歩

南月寒小 六年

田代 つむぎ

札幌国際大学賞

手洗いは 命を守る ヒーローだ

南月寒小 六年

三浦 朝陽

札幌国際大学賞

てあらいは いつもきれいに たのしくね

発寒西小 三年

のだめい

宮の森中賞

手洗いは 君の健康 助けるよ

伏見中 一年

松嶋 詩織

宮の森中賞

手洗いは健康になる 第一歩

福井野中 二年

藤原 大翔

宮の森中賞

手を洗い 感せん予防 バイバイキン

福井野中 二年

鈴木 寅夫

宮の森中賞

汚くね？ 洗ってないつしょ ねえその手

福井野中 二年

上原 アリエ

花王賞講評

福井野中 1年 蒲田 結彩

「手あらいは ひととじぶんを まもるため」
大人にも共有したいメッセージ！ 完璧な5・7・5です。

発寒西小 3年 石井 亮太

「てあらいで ばいきんたおし ピカピカだ」
とってもわかりやすいですね。

宮の森中 1年 大西 繭子

「人間は 顔だけじゃない 清潔も」
衛生管理の大切さが伝わってくる俳句ですね。

福井野中 1年 高橋 空師

「清潔に 感染予防 手洗いで」
清潔と感染予防に手洗いが大切ですよ

柏中 2年 栗木 慶信

「手を洗おう」 みんなを守る 魔法の語」
てをあらう事でみんなを守る。その通りですよ！

大谷地小 4年

「手をあらい きれいになって うれしいな」
手洗い後の状態と気持ちが想像できる素敵な作品でした

伏見中 3年 藤川 結良

「手を洗おう 病気も風邪も バイバイ菌」
みんなにも伝わりやすく覚えやすいですね

手稲宮丘小 2年 戸田 旬紀

「手あらいは みんなのために つづけよう」
自分だけのためではない責任感がとてもよく伝わりますね。

宮の森中 2年 蒲原 凜子

「手洗いは 未来を守る 対策だ」
手洗いが将来も持続するような思いが込められていますね。

宮の森中 2年 竹本 夏乃子

「笑う時間 守るためにも 手洗いを」
笑顔がいっぱいの世界でしあわせに過ごしたいですね

宮の森中 2年 稲村 由彩

「手洗いは もこもこ泡が 主人公」
かわいらしい表現が素敵です。もこもこの泡で洗うことの大切さが伝わります。

宮の森中 2年 光部 心香

「水の音 無言で伝わる 清らかさ」
手洗いの習慣化を音で伝えており清々しいです

福井野中 1年 内館 勇翔

「ぐちゅガラペ 手洗いうがい めちゃスツキリ」

面白い擬音とともに、手洗いうがいをして、すっきりする様子を感じます！

発寒西小 3年 岩さきひろむ

「手をあらい ピカピカピカカ よくできた」

ピカピカピカカ きもちよくたのしく手がぴかぴかになったようすがわかります！

発寒西小 3年くどう こうき

「てのすきま すみずみきれい きれいだな」

ただ手をあらうだけではなく、「てのすきま」など「すみずみ」まであらえるとよいですね

宮の森中学校 1年 宮本 直生

「習慣化 清潔手洗い 三十秒」

時間をかけて手洗いを。習慣化することが大切です

宮の森中学校 1年 荒谷 知花

「きれいな手 二回祝って 誕生日」洗面所に作ってくださった川柳が貼ってあったら。忘れずに丁寧に手洗いできそうです！

福井野中 1年 蒲田 結彩

「手洗いで 増える笑顔に 減る涙」

簡単ではあってもとても有効な感染症予防手段である手洗い。まさに笑顔が増え、悲しみが減りますよね

大谷地小学校 4-1

「かぜの時期 しっかりあらい よくあそぶ」

かぜがはやっている時期にはとくに、しっかり手洗いを。そしてめんえきをよく高めるためにも、楽しくたくさんあそびましょう

手稲宮丘小学校 3年 中瀬こまき

「ジャージャーと しっかり洗って かぜよぼう」

流れる水でしっかり手洗いをする様子が目にうかびます。かぜよぼうのために手洗いを！

宮の森中 佐藤 蒼空

「手を洗う 風邪を遠ざけ 春が来る」

風邪にかかりにくくし、元気に入學、進學するためにも、手洗いなどの感染予防対策をとりましょう。

宮の森中 2年 須藤 春成

「手洗いで 救える命は 数知れず」

その通りです。簡単であるも大変有効な感染予防対策の一つ。重症化しやすい人たちもいますので、自分のためにもそうした人たちのためにも対策したいものです

謝 辞

本活動にご協力頂きました

札幌医科大学医学部病理学第二講座 教授 小山内 誠先生、
小林 幸太先生、時沢 亜佐子先生、松田 慶郎先生
大柳 佳喜様、野家 真一様、
札幌医科大学医学部衛生学講座 教授 小林 宣道先生、講師 川口谷 充代先生、
札幌医科大学医学部医療人育成センター 磯山 響子先生、長南 先生
札幌医科大学経営企画課 清水 様、阿部 露美様および職員の皆様
札幌医科大学画像映像支援部門 佐藤 英高様、濱崎 弘志様、紺谷 敦之様、
北里大学医療衛生学部公衆衛生学講座 教授 内藤 由紀子先生、片桐 裕史先生および学生
の皆様
日本女子体育大学 教授 助友 裕子先生および学生の皆様
札幌国際大学短期大学部 林 二士 先生
NPO法人コミュニティーワーク研究実践センター 副理事長 寺田 陽子様、
北海道おやこ新聞 松田 みほ様、
花王株式会社様、
東京サラヤ株式会社様、
北海道菅公学生服様、
株式会社キッコーマン様、
竹山株式会社様、
日本ユニセフ協会様、北海道ユニセフ協会様
北海道私立幼稚園協会様、
札幌市様、
札幌市保健所企画担当部ならびに感染症対策課様、
札幌市教育委員会様、
札幌マタニティウイメンズホスピタル様、
北海道新聞様、
NHK札幌様、

その他ご協力頂きました全ての皆様に感謝申し上げます。

作品集の枠組は元小学校教員、元児童会館館長 高山喜八郎先生の切り絵作品です。

本活動は文部科学省科研費基盤（B）（C）、オレンジ基金からの助成を受けて行われました。花王株式会社、東京サラヤ株式会社から泡石鹼等の寄付を受けました。花王株式会社、東京サラヤ株式会社等、出賞された方々から子ども達への賞品の提供を受けました。

本年度は札幌医科大学にて授賞式を行う予定です。

詳細は後日、札幌医大ホームページ（<https://web.sapmed.ac.jp/>）にその様子を近日中に掲載予定です。

2025年5月 発行 「学童における感染症予防教育研究班」（札幌医科大学医学部公衆衛生学内）
研究代表者 大浦 麻絵 電話：011-611-2111 内線27410